

事務事業名		自動車臨時運行許可事務				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり				担当	担当部	市民生活部	担当課	佐野総合窓口課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり				組織	担当係	届出証明係	担当課長名	永瀬 明子
	施策	2 持続可能な財政運営の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 市税の収納率の維持・向上				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	2521	一般	2	1	23	自動車臨時運行許可事務				
	事業計画		単年度繰り返し	事業期間	S26年度～		根拠法令 条例等	・道路運送車両法 ・佐野市自動車の臨時運行の許可に関する規則		
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事业		義務的事业		
						実施方法		直営		
						事業分類		許認可・審査事務		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
自動車臨時運行許可証の申請受付、発行、番号標(仮ナンバー)の貸与及び回収					左記事業概要と同じ						
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
臨時運行許可件数					件	702	619	702			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
自動車の臨時運行の許可を必要とする者					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
臨時運行許可申請件数					件	702	619	702			
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
道路運送車両法の運行要件を満たしていない自動車に対して、臨時運行許可を与えることにより、試運転、新規登録、新規検査、継続検査、回送等運行の用に供する。					臨時運行許可件数/申請件数	%	100	100	100		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
市税の収納率の維持・向上					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
十分に歳入が確保されている					%	98.7	98.5	98.5	98.5	98.5	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	22	25	34					
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	22	25	34	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	12	消耗品費	15	消耗品費	18		
			印刷製本費	10	印刷製本費	10	印刷製本費	16		
人件費	正規職員従事人数	人	11	11	11					
	のべ業務時間	時間	220	200	220					
	人件費計(B)	千円	856	788	867	0	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	878	813	901	0	0			

事務事業名	自動車臨時運行許可事務	担当部	市民生活部	担当課	佐野総合窓口課	担当係	届出証明係
-------	-------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	道路運送車両法(昭和26年法律第185号)による。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	個人の自動車保有台数の増加 (全国 平成17年3月末:78,278,880台 → 平成26年3月末:80,272,571台) ↳ 1,993,691台の増加 [(財)自動車検査登録情報協会の自動車保有台数の推移より]
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 自動車臨時運行許可をすることにより、自動車の登録台数が増え、市税の歳入が確保される。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 道路運送車両法施行規則で、国土交通大臣から、市町村長が臨時運行許可の事務取扱に指定されている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 自動車検査登録上必要不可欠である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 行政庁の許可により特例的に運行できることとされているため、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費は、最少の消耗品費並びに印刷製本費なので、削減の余地はない。 毎日の昼休み、人事異動等に対応するために、むしろ増員が必要であり、人事配置に再考を要する。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 道路運送車両法関係手数料及び地方公共団体手数料の一部を改正する政令を受けて、佐野市手数料条例により臨時運行許可申請手数料を徴しているため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	法令に基づく事務であり、休止・終了はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持		×																	
	低下	×	×																	